

副院長就任のご挨拶

濱 真理子 総看護師長兼副院長



平成27年3月より総看護師長兼副院長を拝命いたしました濱です。看護部門に加えて、新たにコメディカル部門を管理する立場となりました。看護職副院長という役職は当院においては前例のないポジションです。さて、何をすべきなのか、お話があった時に考えてしまいました。

看護職が副院長の役職に就くメリットは何でしょう。一つは看護部(看護職)が病院内で占める割合は6割を超えているということです。また、看護には患者さんを中心に色々な職種が関わりますが、看護職は多職種連携の要ともいえ、今までの経験をチーム医療確立に活かせる立場でもあります。このメリットを活かし、コメディカル部門と看護部門との連携を強化し、質

の高い医療を提供できるように努めていきたいと考えています。また、最終的には本来の重要な副院長業務である院長の補佐として活動できるまで努力し、成長していきたいと考えています。

新病院に移転し、これからますます地域医療を邁進し、住民の皆様の方の力になる医療を提供していくために、病院職員が一丸となるよう努めていきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

医師紹介

内科

まえべや まさる
前部屋 賢 医師



【経歴】

平成25年3月 山口大学医学部医学科卒業
平成25年4月 和歌山県立医科大学附属病院にて臨床研修
平成27年4月 和歌山県立医科大学糖尿病・内分泌代謝内科
学内助教

平成27年4月から、隔週の木曜日に外来診察を担当しております内科医師の前部屋賢と申します。当院では主に健康診断など、外来診療にあたらせていただいております。先日初めて診療させていただきましたが、職員の方々、患者さんの方の人柄の温かさを感じることができ、私も元気をいただきました。

まだまだ若輩者ですが有田市の方々の健康の維持、増進に少しでも貢献できるよう精一杯頑張ります。これからもよろしくお願いいたします。

内科

やまにし かずき
山西 一輝 医師



【経歴】

平成25年3月 和歌山県立医科大学卒業
平成25年4月 和歌山県立医科大学付属病院にて臨床研修
平成27年4月 和歌山県立医科大学糖尿病・内分泌代謝内科
学内助教

平成27年4月から、金曜の外来診察を隔週で担当しております山西一輝と申します。高齢者の多い有田市ですので、内科医として少しでもお役に立てればと思うと共に、患者さんとのコミュニケーションを大切にしたい診療を心掛けていきたいと思っております。

まだまだ不慣れなところもございますが、ほかの職員の方々と協力しながら地域の健康増進のために努力していきますので、これからよろしくお願いいたします。

第3回 有田地区在宅医療協議会開催 (平成27年2月28日)

3回目となる今回は、しばしば高齢者の生命を脅かす、誤嚥性肺炎にスポットを当て、『誤嚥性肺炎、その予防について』というテーマで、歯科医師、言語聴覚士、管理栄養士にそれぞれの視点から発表していただきました。内容は口腔ケア、在宅での栄養ケア、嚥下トレーニングや食事介助時のポイントなど実際に医療現場や在宅で活用できるものでした。意見交換では、「今は職種ごとで個別に取り組んでいるが、やはり多職種で補完しあう体制が必要になるのではないか」との意見が挙がりました。当院では今後も様々な取り組みを通じて、地域で活躍している多職種がお互いに『顔の見える関係』『手を取り合う関係』になれるよう活動してまいりますので、みなさま方のご指導よろしくお願い申し上げます。(於:桜ヶ丘病院 会議室)



●ウエノ公園大クリーン作戦に参加 (平成27年3月22日)



有田市の桜の名所「ウエノ公園」で行われた大クリーン作戦に、当院から11名を含むさくらグループ総勢38名が参加させていただきました。行政、地元企業、地域住民らたくさんの人たちが協力し、きれいになっていくウエノ公園を見て、人とのつながりの大切さを改めて実感しました。今後も地域の取り組みに関わっていききたいと思います。

●平成27年度入社式・新入職員研修 (平成27年4月1日)



桜が咲く季節に新たに8名の職員(看護師2名、社会福祉士1名、介護福祉士1名、事務員4名)が入社されました。入社式終了後は、3日間にわたる新入職員研修があり、医療人としての知識や倫理観などについて学んで頂きました。

●職員表彰



■病院協会永年勤続会長表彰
浮野 由紀子 看護師(勤続23年)



■県医師会永年勤続表彰
山田 晴之 看護師(勤続16年)



■有田市医師会優良職員表彰
福田 孝多 事務次長(勤続23年)
桶谷 京子 介護福祉士(勤続13年)